

土木技術職員スキルアッププラン

1. 基本事項

- ① 策定目的：土木技術職員として必要な技術的能力の習得を、新規採用時から計画的に実施することにより、土木技術職員の早期戦力化を推進し、公共工事の品質向上、業務効率化、県民サービスの向上を図る。
- ② 対象職員：主に土木部出先機関に所属する、新規採用～3年目程度の若手土木技術職員

2. 土木技術職員の現状と課題

- ① 県の土木技術職員は、317人（令和7年4月1日時点）でピーク時(H9)454人の約7割となっており、その年齢構成も平均的ではなく、年代別では20歳代・30歳代・40歳代の職員が少なく、50歳代の職員が多い状況であることから、若手土木技術職員への直接的な指導機会が少なくなっている状況である。
⇒**技術力の継承が危ぶまれる**
- ② 土木技術職員の業務は公共土木施設を建設するだけでなく、老朽化対策も含めた維持管理業務の重要性も増しており、人員削減による一人当たりの事務量の増加に伴い、現場に行く機会と時間が減少している状況にある。
⇒**土木技術職員としての技術力、現場対応力の低下が懸念される**
- ③ 土木技術職員は、工事に関する業務だけでなく、事業説明、用地交渉での地元住民への説明や、異常気象時の対応など多様な業務を担当しており、これらの業務に関する知識も必要である。さらに、国の新しい施策や県の重点施策に関しても常に情報収集しておく必要がある。
⇒**目的や相手に応じた説明力、専門的な知識の習得、関連する知識の習得が必要**

3. 取組方針

- ① 求められるスキルの見える化
土木技術職員として求められるスキルを、経験年数や分野ごとに、必要性和その方法について具体的に示す「スキルマップ」を作成して明確化する。[別添1](#)
- ② 初任土木技術職員の育成強化
新規採用の土木技術職員が、正規の監督員となる10月までの半年間で、習得すべき最低限の基礎知識と実務能力を養成するための研修計画を新たに策定する。研修計画は、(公財)香川県建設技術センターによる基礎的研修と技術企画課による実務的研修を組み合わせた計画とする。[別添2](#)
- ③ 〇JTによる実践的な能力の習得
土木技術職員のノウハウを含んだリーフレット、初任土木技術職員の人材育成マニュアルを作成し、職場における〇JTに活用する。
- ④ 技術継承しやすい職場環境の整備
職場におけるコミュニケーションが良好に行われ、初任土木技術職員への指導・助言がしやすく、また初任土木技術職員が相談しやすい職場づくりに取り組む。

4. スキルアッププランの推進体制と効果検証

- ① 技術企画課においてスキルアッププランの推進と進捗管理を実施する。
- ② 「香川県 初任土木技術職員 人材育成マニュアル」によるスキルアッププランの効果検証等を行い、場合により、土木部次長、出先機関の防災・監督主幹、本庁の課長補佐等、関係者の意見を聞き、継続的な制度改善を実施する。

■ 土木技術職員のスキルマップ 《②事業管理、調査・設計、用地補償》

【出先事務所技術職員編】 ※本庁技術職員はOJTによるスキル習得を基本とする

◎:習得必須スキル ○:習得期間 (◎):選択制必須スキル

■:習得済又は習得不要 【令和8年3月末版】

区分	基本分類	小分類	No.	習得項目名	対象者						習得方法				◆研修開催時期															
					新採 (半年間)	若手技師 (~3年)	技師・ 主任技師 (~10年)	主任	副主幹	課長 (GL)	研修			OJT	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
											県職員	県技 センター	★外部 研修																	
一般	事業管理	全体計画	28	個別事業の全体事業費・残事業費把握		○	◎	◎	◎																					
		年次計画	29	個別事業の年次計画策定・把握(スタミナ管理)			◎	◎	◎																					
		進捗管理	30	設計・用地買収・工事の進捗状況把握及び課題解決の具体的提案能力			◎	◎	◎																					
		発注管理	31	予算時期(当初・補正)と次工程(測量→設計→用地→工事)を意識した発注・工期設定の計画・管理			◎	◎	◎																					
	調査・設計	事前準備	32	既存資料・現地条件情報収集能力<地形地質、技術基準、施工工法、法規制等>		○	◎	◎	◎																					
			33	必要業務内容(項目・範囲・条件)・必要関係手続の把握能力		○	◎	◎	◎																					
			34	地元・関係機関調整能力			◎	◎	◎																					
		積算 (委託)	35	業務関係共通仕様書の理解	◎(基礎)	○	◎	◎				①		①																
			36	積算基準書、積算の手引きの理解	◎(基礎)	○	◎	◎				⑥⑦	③		③			⑥	⑦											
			37	設計書作成能力(積算システム操作・現場条件表作成)	◎(基礎)	○	◎	◎	◎				⑥⑦	③		③			⑥	⑦										
			38	発注図面作成能力(CAD操作)	◎(基礎)	○	◎	◎	◎				③	②		②	③													
		監督業務 (委託)	39	業務計画書の作業内容確認能力		○	◎	◎	◎				④		④															
			40	地質調査、設計:各専門分野の技術基準等の知識(専門区分参照)		(○)	(◎)	(◎)	(◎)																					
			41	条件変更対応能力<必要性判断、業務内容・金額変更等の影響範囲把握>			◎	◎	◎																					
			42	成果品の照査能力		○	◎	◎	◎																					
		検査	43	業務成績評定能力		○	◎	◎	◎	◎			③			③														
	44		委託業務検査能力				◎	◎																						
	用地・補償	45	用地買収の基礎知識	○	○	◎	◎	◎	◎			④	⑨				④	⑨												
		46	物件補償等の基礎知識	○	○	◎	◎	◎	◎			④	⑨				④	⑨												

★外部研修 □国土交通大学校研修 ○(財)全国建設研修センター研修
◇国土技術政策総合研究所 △四国地方整備局研修他
◆研修開催時期 ○内の数字は別紙「研修計画表」のNo.を表す

スキルマップ研修計画表

■建設技術センターによる研修（県職員・市町職員）《基本的知識》

【令和8年3月末版】

No.	研修区分	研修名	対象者	実施月(予定)	備考
①	一般実務	リスキング研修(積算・CAD)	希望者	4月	
②	一般基礎	初任技術者のための監督業務①	新採職員 希望者	5月	
③	一般基礎	CAD研修(入門編)	新採職員 希望者	5月	
④	一般基礎	初任技術者のための積算業務	新採職員 希望者	5月	
⑤	一般基礎	初任技術者のための監督業務②	新採職員 希望者	6月	
⑥	専門実務	災害復旧実務	希望者	6月	
⑦	専門基礎	コンクリートの基礎知識	新採職員 希望者	6月	
⑧	専門基礎	地質調査の基礎知識	新採職員 希望者	7月	
⑨	専門基礎	構造物設計の基礎知識	新採職員 希望者	7月	
⑩	専門実務	公共事業に必要な用地・補償の制度と実務	希望者	8月	
⑪	専門技術	橋梁設計	希望者	9月 (隔年)	令和8年度
	専門技術	アスファルト舗装に関する技術、維持修繕及び品質管理			(令和9年度)
⑫	専門技術	河川計画と設計	希望者	9月 (隔年)	令和8年度
	専門技術	道路計画と設計			(令和9年度)
⑬	専門実務	橋梁点検・補修	希望者	9月	
⑭	専門実務	仮設工の積算	希望者	10月	
⑮	専門技術	入札談合の防止に向けて	希望者	10月	
⑯	専門技術	現場見学会(現場未定)	希望者	11月	
⑰	専門技術	建設DXの基礎知識(ICT・BIM/GIM)	希望者	12月	

スキルマップ研修計画表

■技術企画課による研修（県職員のみ）《実務研修》

No.	研修 期間	研修名	対象者	実施月 (予定)	備考
①	1日	「香川県の土木行政について及びトレーナー研修」 ○香川県の土木行政について(新採職員) ○スキルアッププランについて(新採職員) ○土木技術職員としてのコンプライアンスについて(新採職員) ○新採技術職員に実務経験で伝えるべき基本事項の確認等(トレーナー) ○香川県 初任土木技術職員 人材育成マニュアルの説明(トレーナー) ○新採技術職員説明用のリーフレットを配布・説明(トレーナー)	新採職員 トレーナー	4月	技術企画課
②	1日	「土木設計積算システムの操作研修」 ○積算システムの使用手法 ○設計書の作成 等	新採職員	5月	技術企画課
③	1日	「初任土木技術職員のための監督実務①」 ○設計図書の概要、設計変更 ○土木技術職員が使用する各種システムの基礎知識 (建設工事管理システム、情報共有システム等) ○検査・監察・成績評定の基礎知識、竣工時の書類確認など ○CAD実務(旗揚げ、着色、文字入力 等)	新採職員 若手職員	6月	技術企画課
④	1日	「初任土木技術職員のための監督実務②」 ○香川県の公共土木施設のアセットマネジメントについて ○電子納品保管管理システム、土木統合台帳の使用について ○ICT施工の基礎知識 ○管理・用地業務の基礎知識(境界立会、丈量図、台帳整備、承認工事等) ○本庁事業課との意見交換会 ○これまでの振り返り	新採職員 若手職員	7月	技術企画課
⑤	半日	「技術者のための3次元データ研修」 ○3次元データの基礎知識 ○CIM活用業務について ○3DCADの基本操作(実技研修)	若手職員 ～副主幹等	8月	技術企画課
⑥	(アンケート システム形 式)	「技術者のための積算業務（設計書チェックのポイント）」 ○設計書作成時の間違いやすい内容を含む演習用設計書のミス発見 ○各要領等の内容を確認 など	若手職員 ～副主幹等	9月	技術企画課
⑦	(アンケート システム形 式)	設計書チェックのポイント（演習編） ○設計書作成時の間違いやすい内容を含む演習用設計書のミス発見 ○各要領等の内容を確認 など	若手職員 ～副主幹等	11月	技術企画課
⑧	半日	「新任出先課長のための監督業務」 ○入札・契約制度について ○総合評価について ○品確法の改正経緯について など	新任GL	3月	技術企画課 土木監理課

初任土木技術職員 年間研修計画表（予定）【令和8年度版】

R8.3月末時点

時期	期間	種別	研修名称	研修内容	研修キーワード	
➤ (OJT) トレーナーと工事監督業務に関する実務経験開始(工事発注、施工管理、地元対応等)						
4月	上	8日	一般	初任者(前期)研修	県職員としての意識と使命感の確立を図り、地方公務員にふさわしい規律・マナーを身に付けるとともに、職務で求められる基礎的知識・能力を習得し、実務に活かす。	○新社会人としての心構え・接遇・マナー、公務員倫理、文書事務の基礎、県の組織と行政経営等 ○知事講和
	中	1日	技術(技企)	①香川県の土木行政について	本県の土木技術職員として知っておくべき香川県の土木行政やコンプライアンス、研修計画全般について研修を行い、県の土木技術職員としての自覚や自己研鑽の必要性などを習得する。	○技術職としての意識向上、スキルアップのイメージ
	下	半日	サポート	トレーナー研修【新規採用職員対象外】	新規採用職員の指導・育成を担当するトレーナーが、職場において適切な指導や助言を行えるよう実践的な対処方法を習得する。	○トレーナー制度
	下	半日	技術(技企)	トレーナー研修【新規採用職員対象外】	効率的なOJTによる初任土木技術者の知識・能力の向上を図るため、初任土木技術職員に実務経験を積ませるうえでトレーナーとして指導すべき基本事項の研修を行う。	○スキルアップ、OJT(職場内教育)
5月	上	3日	一般	初任者(中期Ⅰ)研修	自治体の法務や県議会のしくみなど、職務で求められる基礎的知識・能力を習得し、実務に活かす。	○県税のしくみ、自治体の法務、県議会のしくみ 等
	中	1日	技術(センター)	①初任技術者のための監督業務①	土木工事のながれ、工事監督員としての心構え、品質管理や出来形管理、安全管理等、基礎知識を習得する。	○工事監督業務の基礎知識
	中	1日	技術(センター)	②CAD研修(入門編)	CADの基本操作、発注図面作成までの実演等、CADの基礎的知識・能力を習得する。	○CADの基本操作
	下	1日	一般	初任者(中期Ⅱ)研修【全体研修】	地域課題の観察力を高め、地域活性化について考える。	○「子育て県かがわ」、「讃岐うどん」の継承と発展 等
	下	1日	技術(センター)	③初任技術者のための積算業務	初任技術者が積算するために必要となる基礎的知識・能力の習得する。	○積算基礎知識
	下	1日	技術(技企)	②土木設計積算システムの操作研修	土木設計積算システムを用いて実施設計書の作成及び設計書管理の能力を習得する。	○積算システムの操作
6月	上	1日	技術(センター)	④初任技術者のための監督業務②	工事の検査、監察、工事成績のほか、コンクリート施工管理など、工事監督の関係法令に関する基礎的知識を習得する。	○工事検査・監察・工事成績の基礎知識 等
	中	1日	技術(センター)	災害復旧実務	(専門実務)	○災害復旧
	中	1日	一般	初任者(中期Ⅱ)研修【現場体験型研修】	現場体験型研修を通して、地域課題の観察力を高め、地域活性化について考える。	○地域活性化、国際化 等
	中	1日	技術(技企)	③初任土木技術職員のための監督実務①	・当初設計書の概要、CAD実務、設計変更、工事検査、監察、工事成績、竣工など、工事監督員が実施する一連の業務内容について、実務的な研修を通して習得する。 (設計変更の留意点、変更事前協議書、情報共有システム、建設工事管理システム)	○CAD実務、設計変更 ○検査・監察・工事成績の実務 ○各種システム実習
	下	1日	技術(センター)	⑤コンクリートの基礎知識	生コンの品質管理、コンクリート構造物の補修技術等、工事監督員として習得すべき基礎的知識を習得を図る	○コンクリートの基礎知識
7月	上	1日	技術(技企)	④初任土木技術職員のための監督実務②	・公共土木施設のアセットマネジメントについて、理解を深める。 ・電子納品保管管理システム、土木統合台帳などのシステム操作を習得する。 ・これまでの振り返り。 ・本庁事業課との意見交換会。	○アセットマネジメント ○各種システム実習 ○本庁事業課との意見交換
	上	半日	サポート	トレーナー研修【新規採用職員対象外】	新規採用職員の指導・育成を担当するトレーナーが、職場において適切な指導や助言を行えるよう実践的な対処方法を習得する。	○OJT(職場内教育)
	中	1日	技術(センター)	⑥地質調査・土質試験の基礎知識	地質調査、土質試験に関して監督員(調査職員)として習得すべき基礎的知識と、土質試験の実技による土質の判定知識等の習得を図る	○地質調査と土質試験の基礎知識
	下	1日	技術(センター)	⑦構造物設計の基礎知識	監督員として最低限習得すべき、擁壁の安定計算、ブロック積の設計など、構造物設計の基礎的知識について、演習を含めた研修により習得を図る	○基本構造物の安定計算等の基礎知識
8月	上					
	下	1日	技術(センター)	公共事業に必要な用地・補償の制度と実務	(専門実務)	○用地補償
9月	上	1日	技術(センター)	橋梁点検・補修	(専門実務)	○橋梁点検・補修
	下	1日	技術(センター)	河川計画・設計	(専門技術)	○河川計画・設計
10月	上	1日	技術(センター)	入札談合の防止に向けて	(専門実務)	○入札談合の防止
	上	1日	一般	初任者(後期)研修【現場体験型研修】	県職員として、非常事態に備えた危機管理対応力を身につける。	○消防学校体験学習
	中	1日	技術(センター)	仮設工の積算	(専門実務)	○仮設工の積算
11月	下	1日	一般	初任者(後期)研修【全体研修】	職場における実務体験を踏まえて、初任者研修のフォローアップを図る。	○公文書作成ワーク ○キャリアデザイン ○副知事講話
	上	1日	技術(センター)	現場見学会	(専門技術)	○未定
12月	上	1日	技術(センター)	建設DXの基礎知識(ICT・BIM/CIM)	(専門技術)	○ICT、BIM/CM、3次元データ
	下					
1月						
2月	上					
	下					
3月	上					
	中	1日	技術(センター)	45歳以上の熟練者に対するリスクリングのための研修(積算・)	定年延長職員などを対象に、積算システムやCAD、情報共有システム操作を通して、工事監督員の基礎的知識をリスクリングする。	○リスクリング

凡例

- … 人事課が実施する階層別一般研修(新採職員必須)
- … (公財)香川県建設技術センターが主催する基礎的知識の習得を目的とした研修(県初任土木技術職員、市町職員対象)
- … 技術企画課が主催する実務的知識、能力の習得を目的とした研修(県土木新採職員必須、④の「事業主管課との意見交換」は3年目若手職員も対象)
- … (公財)香川県建設技術センターが主催する専門的知識の習得を目的とした研修(県初任土木技術職員、市町職員対象)